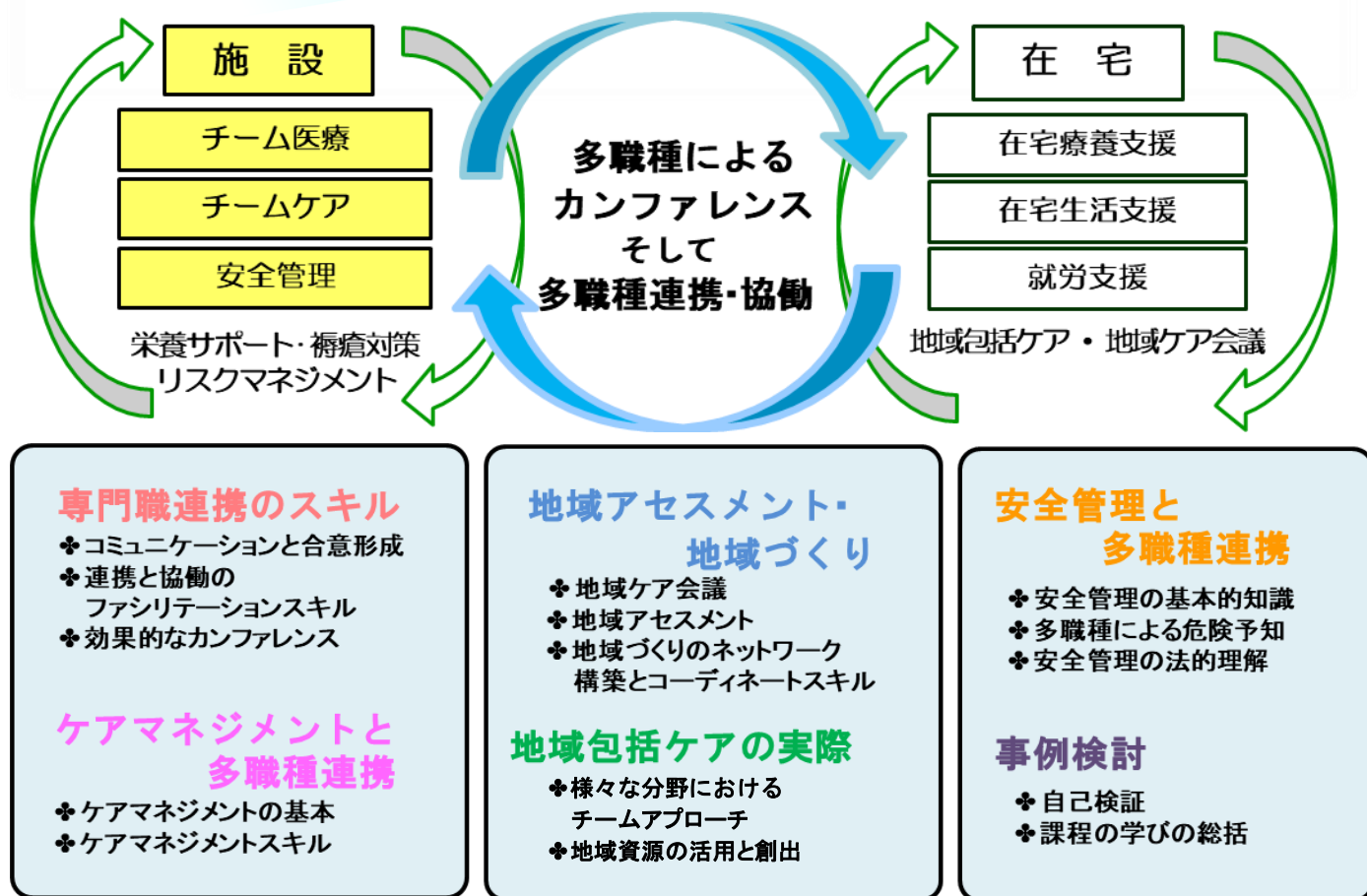




令和3年度 第2回学生募集

多職種連携推進課程

地域で“つながる ✧ つなげる” 力をあなたに !!



募集人員 15名

開講期間 令和3年4月～令和3年12月 原則毎週土曜日

出願資格 保健・医療・福祉関係機関・施設等において、多機関・多職種との連携が必要な業務に1年以上従事している者

出願期間 令和3年1月7日(木)～令和3年1月25日(月)(消印有効)

合格発表 令和3年2月17日(水)

詳しくは、ホームページ（<https://www.kuhs.ac.jp/jissen/>）から、募集要項でご確認ください。

問合せ

神奈川県立保健福祉大学実践教育センター 実践教育部

多職種連携推進課程担当

TEL 045-366-5871 (直通)

月～金 9時～17時



多職種連携推進課程とは



第1回生の作品「ヒューマン君」

多職種連携・協働について、 実際に多職種でともに学び合う課程です

「役割分担」が「役割分断」となっていないか？

この問いかけに、自分がこれまで何を伝え、どう繋がってきたのか、振り返らざるを得ませんでした。
クライアントを中心に、合意形成を図る大切さを学びました。
(社会福祉士)

どのような物事も、職種によって見え方が違うことを学びました。
(診療情報管理士)

「その人らしさを大切に」とは？
多職種が専門性を踏まえ、連携することで、その人全体を見ることの大切を学びました。
(看護師)

IPW・IPEについて学び、何をすべきなのか自分の立ち位置と役割が理解できました。
多職種による連携こそが、これからの住みやすい地域づくりの基礎であると気づかされました。
(就労支援員)

ストレングスへの気づきで、新たなケアプラン作成の視点に繋がりました。
(介護福祉士)

卒業生からの メッセージ

ともに学んだ人とのつながり、仲間が大きな宝物となる。
(看護師)

「連携」というけれど、どうして「連携」が大切なのか。多職種での連携はどうしたらいいか。そんなモヤモヤと言葉にできない思いを学びながら言語化でき、地域での実践に役立っています。
(ケアマネージャー)

本当に「相手に寄り添う」ということはどういうことか。
様々な職種の方たちと語らいながら、自分の専門の強みと限界を学びました。
(看護師)

他の職種に対する理解が深まることで、職場での連携や仕事に対するモチベーションも育まれました。多職種が連携し、それぞれの専門性を束ねることのできる「実践の智」を体感できる課程です。
(介護福祉士)

多職種連携の考えが広がる中で、PTがやるべきこと、他の職種からの見られ方、要望されていることがよく理解できました。仕事の広がりを感じることが出来ます。リハ職の方もぜひ！
(PT)